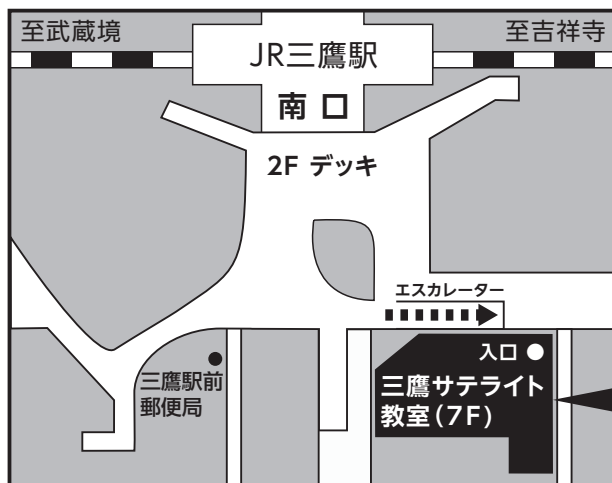


現代と異なる中世仏教の言葉

受講料 (振込額)	12,500円				
必携テキスト	――				
講座概要	曜日	月曜日		日程	
	時間	10:00～11:30			
	回数	全5回	定員		40名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F / 大教室			
講師	本学教養教育学リサーチセンター研究員・東京大学史料編纂所史料情報管理チーム 生駒 哲郎 (いこま てつろう)				
	専門は日本中世宗教史、日本古文書学会編集・大会運営委員。立正大学大学院文学研究科史学専攻博士後期課程満期退学。 山梨県身延山久遠寺、大田区池上本門寺、石川県羽咋市妙成寺などの史料調査委員を経て、現在、武蔵野大学教養教育学リサーチセンター研究員・東京大学史料編纂所非常勤職員・東京都渋谷区文化財審議委員。 主要著書日本の名僧6『重源:旅の勸進聖』(共著 吉川弘文館)、『中世の寺院体制と社会』(共著 吉川弘文館)、 『中世の寺院と都市・権力』(共著 山川出版社)、『山岳信仰と村落社会』(共著 岩田書院)				
内容	例えば「逆縁」(ぎやくえん)という仏教語があります。現在では、子どもより親が先に亡くなり、子どもが親の葬儀を執り行うことが年齢的に多いのですが、それとは逆に子どもが親より先に亡くなり、親が子どもの葬儀を出すことを「逆縁」と言います。しかし、中世ではそうした意味ではなく、悪事がきっかけとなって仏道に帰依(きえ)することを意味します。 そうした中世と現代とで異なる言葉を、皆さんと考える講座です。 ちなみに「自由」は中世では「勝手気まま」、「支配」は中世では「分配」のことです。 豆知識を増やしましょう。				
	①7月22日:不入藏(ふにゅうざう) ②8月 5日:無縁(むえん)と有縁(うえん) ③8月26日:大罪 ④9月 9日:天下 ⑤9月30日:三宝(さんぼう)				



武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR 三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1F入口からお入りください

- 「受講の手引き」を必ずお読みの上、ご参加ください。